

## 再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：三浦 真紀

<b>事業名</b>	一般国道45号 八戸南環状道路	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 東北地方整備局	
<b>起終点</b>	自：青森県八戸市大字根城字笹原 至：青森県八戸市大字妙字大開	<b>延長</b>	8.6 km			
<b>事業概要</b>						
<p>八戸・久慈自動車道は、青森県八戸市を起点とし、岩手県久慈市に至る延長約50 kmの高規格幹線道路である。</p> <p>八戸南環状道路は、青森県八戸市大字根城字笹原から青森県八戸市大字妙字大開を結ぶ約8.6 kmの自動車専用道路であり、八戸・久慈自動車道の一部を構成し、八戸市と久慈市を中心とする地域間の連携・交流を促進するとともに、高次医療施設へのアクセス向上、物流効率化による地域の生活・産業の活性化等を目的としている。</p>						
H3年度事業化		H3年度都市計画決定		H5年度用地着手		
H11年度工事着手						
<b>全体事業費</b>		435億円		<b>事業進捗率</b>		
				81%		
<b>計画交通量</b>		5,600台/日		<b>供用済延長</b>		
				3.8 km		
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C	<b>総費用</b>	(残事業)/事業全体 84億円/545億円 事業費：68億円/515億円 維持管理費：17億円/30億円	<b>総便益</b>	(残事業)/事業全体 140億円/642億円 走行時間短縮便益：117億円/545億円 走行経費減少便益：16億円/61億円 交通事故減少便益：8億円/36億円	<b>基準年</b>
	(事業全体) 1.2					
<b>感度分析の結果</b>						
残事業について感度分析を実施						
【残事業】						
交通量変動		B/C=1.9(交通量 +10%)		B/C=1.3(交通量 -10%)		
事業費変動		B/C=1.5(事業費 +10%)		B/C=1.8(事業費 -10%)		
事業期間変動		B/C=1.6(事業期間 +20%)		B/C=1.7(事業期間 -20%)		
<b>事業の効果等</b>						
①広域的な高速道路ネットワークの構築						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸、二戸、久慈地域間の連携・交流を促進する高規格道路の骨格を形成する。</li> <li>・岩手県久慈市～青森県八戸市間の所要時間の短縮が図られる。</li> </ul>						
②救急医療施設へのアクセス向上						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市立市民病院（三次救急医療施設）の30分カバー圏域人口が増加する。</li> </ul>						
③物流効率化への寄与						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北自動車道八戸線と接続することで、鶏卵の全国各地へのダイレクトな高速輸送が可能となり、時間短縮による輸送の効率化に寄与する。</li> </ul>						
④広域観光の支援						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市及び周辺地域へのアクセス利便や観光地間の周遊利便の向上が期待される。</li> <li>・八戸・久慈自動車道の全線整備により、岩手県久慈方面との広域観光圏の形成に寄与する。</li> </ul>						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>						
<p>八戸南環状道路は高規格幹線道路ネットワークの一部として、時間短縮効果による日常生活の利便性のほか八戸市・久慈市間の交流促進、物流効率化による地域の生活・産業の活性化等が期待されており、八戸市長をはじめとする首長で構成される八戸久慈自動車道建設促進期成同盟会より早期整備の要望を受けているほか、多くの団体から同様の要望を受けている。</p> <p>県知事の意見：事業の継続に異存はありません。ただし、一般国道45号八戸南環状道路の事業計画については、高速道路無料化による交通需要の変化などを総合的に勘案し、引き続き検討して下さるようお願いいたします。併せて、一般国道45号八戸南環状道路及び八戸南道路の早期完成を図るようお願いいたします。なお、事業の執行にあたっては、引き続き、一層のコスト縮減に努めて頂きますようお願いいたします。</p>						
<b>事業評価監視委員会の意見</b>						
<p>対応方針（原案）どおり「事業を4車線整備から2車線整備に見直し、事業継続」が妥当である。</p> <p>なお、以下の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業化時の概算工事費の精度が上がるよう、事業開始前の十分な調査の徹底及び概算工事費の積み上げをチェックする仕組みなど、事業費の大幅な増加が起こらないシステムを整えること。</li> <li>・事業費が大幅に増加する場合は、判明した後にどのような対応を取ってきたのか、十分な説明となるよう努力すること。</li> </ul>						
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>						
この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。						
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>						

